

第二目 戰鬪發射成績決定方法

戰鬪發射成績即チ部隊(艦、驅逐隊、艇隊、潛水隊、戰隊)成績決定ニ關スル規定ノ變遷ハ之ヲ三大別スルコトヲ得ベシ即チ左ノ如シ

一、戰鬪發射實施規程ニ其ノ細目ヲ定メ之ヲ公示セル時代

(明治四十一年ヨリ大正三年ニ至ル)

二、戰鬪發射實施規程中ニ掲記スルコトナク海軍教育本部長ヲシテ之ヲ審査決定セシメタル時代

(大正四年ヨリ大正九年ニ至ル)

三、成績決定ヲ行ハズ所屬司令長官(司令官)ノ講評訓示ヲ以テ之ニ代ヘタル時代

(大正十年以降)

以上ノ變遷ヲ吟味スルニ何レモ各其ノ時代ニ於ケル魚雷發射訓練ノ進歩ニ伴フ自然的改變ニ外ナラズシテ即チ第一期(自十四年
至大正三年)ニ於テハ教育ノ着眼ヲ主トシテ教示誘掖ニ置キタルガ爲自ラ之ニ必要ナル細項ヲ指示シ戰闘作業ノ基礎ヲ長養セルモノニシテ剝切至當ノ方法ナリシモ該期ノ晩年ニ及ンデハ伎倆進歩ノ半面ニ於テ成績ノ數字的優劣ニ捉ハレ動モスレバ實戰的觀念ノ振作ヲ害スルヤノ形跡ヲ認ムルニ至リシガ故ニ茲ニ第二期ニ對スル變改ヲ要スルニ至リシモ而カモ尙實施部隊ノ運動若クハ發射法等ノ一部ヲ規制スルノ要アリシハ當時ノ現狀ニ即シ止ムヲ得ザルニ出デシモノトス然ルニ大正九年ヨリ艦隊所屬ノ一部ニ六年式五十三種魚雷ノ供用アリシト共ニ魚雷戰能力向上ノ欲求蓬勃トシテ擣頭シ行動用燃料ト訓練期間ノ掣肘ヲ享クル現狀ニ在リテハ戰技ヲシテ一層實戰的ナラシメ尙成績ノ優劣ヲ競フノ氣勢濃厚ナル現狀ヲ打破シ代フルニ戰術的實驗研究第一主義ヲ以テセザルベカラザルノ機運ヲ醸成スルニ至リ茲ニ明治四十一年以來ノ成績決定ハ大正十年以降廢止セラレ所謂前記ノ第三期ニ到達セルモノニシテ約十有三年ノ星霜ヲ經テ少年時代ヨリ正ニ壯年時代ニ入リシモノナリ以下多少ノ重複ヲ顧ミズ四十年以來本戰技成績決定ニ關スル規定ノ主要點ヲ表記シ参考ニ資セントス

HP『海軍砲術学校』公開史料

年次	成績決定期主要素概要	年一十四治明	年二十四	年三十四	四年四十一年
(四) 前諸號皆相等シキトキハ平均敵針誤測差少キモノヲ上位トシ尙相等シキトキハ平均敵速誤測差少キヲ上位トス	<p>一、縦製網ニ命中セル痕跡位置 各痕跡位置ニ應ジ縱舵器ヲ有スルモノト有セザルモノトニ分子得點ヲ付與ス</p> <p>二、所管内ニ於ケル成績ノ順序ヲ定ムベキ事項ヲ規定ス 總得點、命中數、水雷ノ故障、發射準備所要時間</p>		同右		<p>右ノ外順序決定ノ要素トシテ「命中痕跡散布界ノ大小」ヲ加フ</p> <p>(備考) 四十一年ヨリ四十三年ニ至ル戰闘發射實施部隊ハ驅逐隊艇隊ノミナリ</p> <p>一、魚雷ノ標的通過位置 軍艦ト驅逐隊艇隊ニ區分シ別個ニ痕跡通過位置ニ依リ得點ヲ付與ス</p> <p>二、右得點ニ對スル減點事項(左記)ヲ設ク</p> <p>三、規定期間後ノ發射 規定最短運動距離以内ニ入りタル距離 規定最短照準距離以内ニ入りタル距離</p> <p>三、成績順序決定法ハ左記ニ依ル (一) 總得點百分比ノ多寡 (二) 上記相等シキトキハ命中數多キヲ上位トス (三) 上記相等シキトキハ平均運動時間少キモノヲ上位トシ、平均運動時間尙相等シキトキハ平均發射時間少キヲ上位トス</p>

年五十四	年三正大	年二正大	年四正大	年
前年ト殆ド同一ナリ	前年ト殆ド同一ナリ	前年ト殆ド同一ナリ	前年ト殆ド同一ナリ	前年ト殆ド同一ナリ
晝間發射ヲ施行スルモノニアリテハ魚雷ノ標的航路ヲ通過シタル位置ニ應ジ付與スル點數ヲ以テ夜間發射ヲ施行スルモノニアリテハ標的幅内ヲ通過セル百分比ヲ以テ算ス、其ノ他前年ト殆ド同一ナリ				
一、軍艦、驅逐隊晝間戰闘發射 標的幅内ヲ通過シタル魚雷數ヲ全發射數ニ對スル百分比トシテ算出シ之ニ左ノ事項ヲ加味シ得點ヲ定ム 襲撃對數ヲ執ルベク決心セシ迄ノ運動法、運動距離、反航又ハ同航發射、曳的船發見迄ノ所要時間、曳的船發見後發發終結迄ノ所要時間、敵針敵速測定誤差	一、軍艦、驅逐隊晝間戰闘發射 標的幅内ヲ通過シタル魚雷數ヲ全發射數ニ對スル百分比トシテ算出シ之ニ左ノ事項ヲ加味シ得點ヲ定ム 運動距離、敵針敵速ノ測定誤差	一、軍艦、驅逐隊晝間戰闘發射 標的幅内ヲ通過シタル魚雷數ヲ全發射數ニ對スル百分比トシテ算出シ之ニ左ノ事項ヲ加味シ得點ヲ定ム 運動距離、敵針敵速ノ測定誤差	一、軍艦、驅逐隊晝間戰闘發射 標的幅内ヲ通過シタル魚雷數ヲ全發射數ニ對スル百分比トシテ算出シ之ニ左ノ事項ヲ加味シ得點ヲ定ム 運動距離、敵針敵速ノ測定誤差	一、軍艦戰闘發射 命中魚雷數ノ規定發射數ニ對スル百分比ニ左ノ事項ヲ加味シ得點及成績順序ヲ定ム

大正五年	大正六年
<p>標的の長ニ對スル命中公算、標的延長線通過魚雷數ノ規定發射數ニ對スル百分比、運動距離、發射艦運動法、發射ニ關スル故障錯誤</p> <p>二、驅逐隊晝間戰闘發射</p> <p>標的の長ニ對スル命中公算、運動距離、運動時間、發射ニ關スル故障錯誤</p> <p>三、驅逐隊駆逐夜間戰闘發射</p> <p>命中魚雷數ノ規定發射數ニ對スル百分比ニ左ノ事項ヲ加味シ得點及成績順序ヲ定ム 運動距離、運動時間、發射ニ關スル故障錯誤</p> <p>四、潛水艇隊戰闘發射</p> <p>魚雷ノ標的ヲ通過セル位置ニ應ジ點數ヲ付與シ左ノ事項ヲ加味シ得點ヲ定ム 運動距離、被發見時間、潛望鏡露出時間</p> <p>一、軍艦戰闘發射</p> <p>命中魚雷數ノ規定發射數ニ對スル百分比ニ左ノ事項ヲ加味シ得點ヲ定ム 標的ニ對スル命中公算、規定最短運動距離以内ニ入りタル距離、發射艦運動ノ適否、發射ニ關スル故障錯誤連續裝填時間</p> <p>二、驅逐隊晝間戰闘發射</p> <p>命中魚雷數ノ規定發射數ニ對スル百分比ニ左ノ事項ヲ加味シ得點ヲ定ム 標的ニ對スル命中公算、規定最短運動距離以内ニ入りタル距離、七千米以内運動時間、發射隊運動ノ適否、發射ニ關スル故障錯誤</p> <p>三、驅逐隊夜間戰闘發射</p> <p>命中魚雷數ノ規定發射數ニ對スル百分比ニ左ノ事項ヲ加味シ得點ヲ定ム 標的の長ニ對スル命中公算、發射隊が襲撃對勢ヲ採ル迄ニ規定距離二千五百米（三等驅逐隊ニアリテハ二千五百米（艇隊ニアリテハ千七百米）以内ノ運動回数、時間、距離、發射隊運動ノ適否、發射ニ關スル故障錯誤</p>	<p>一、軍艦戰闘發射</p> <p>命中魚雷數ノ規定發射數ニ對スル百分比ニ左ノ事項ヲ加味シ得點ヲ定ム 標的ニ對スル命中公算、規定最短運動距離以内ニ入りタル距離、發射艦運動ノ適否、發射ニ關スル故障錯誤連續裝填時間</p> <p>二、驅逐隊晝間戰闘發射</p> <p>命中魚雷數ノ規定發射數ニ對スル百分比ニ左ノ事項ヲ加味シ得點ヲ定ム 標的ニ對スル命中公算、規定最短運動距離以内ニ入りタル距離、七千米以内運動時間、發射隊運動ノ適否、發射ニ關スル故障錯誤</p> <p>三、驅逐隊夜間戰闘發射</p> <p>命中魚雷數ノ規定發射數ニ對スル百分比ニ左ノ事項ヲ加味シ得點ヲ定ム 標的の長ニ對スル命中公算、發射隊が襲撃對勢ヲ採ル迄ニ規定距離二千五百米（三等驅逐隊ニアリテハ二千五百米（艇隊ニアリテハ千七百米）以内ノ運動回数、時間、距離、發射隊運動ノ適否、發射ニ關スル故障錯誤</p>

四、潛水艇戰闘發射

魚雷ノ標的通過位置ニ應ジ點數ヲ附與シ左ノ事項ヲ加味シ各艦ノ得點ヲ定メ之ヲ合計シテ發射隊ノ得點ヲ定ム
規定最短運動距離以内ニ入リタル距離、發射開始ヨリ所定深度潜航迄ノ所要時間、發射開始ニ續キ所定深度潛
望鏡露出時間、發射三關スル故障錯誤

一、命中魚雷數ノ規定發射魚雷數ニ對スル百分比ニ左ノ係數ヲ乘ジタルモノヲ得點トス
但シ

イ、命中魚雷トシテ命中深度ガ調定深度ニ比シ著ルシク淺キトキハ該魚雷ノ命中魚雷數ヲ二分ノ一トス

ロ、規定時間超過後發射ヲ行ヒタルトキハ該發射魚雷數ヲ命中魚雷數ヨリ減ジタルモノヲ命中魚雷數トス

ハ、得點百ヲ超過スルトキハ之ヲ百トス

係 數	射 程 (艇 (隊)) 標準 (米)	軍 艦		驅逐隊(晝間)		同 (夜 間)		艇 隊		潛水艇	
		一、三三	一、二八	一、二八	五、〇〇	二、五〇	同 一、七五	4. 一、五〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇
									六〇〇	六〇〇	六〇〇
									六〇〇	六〇〇	六〇〇
									六〇〇	六〇〇	六〇〇
									六〇〇	六〇〇	六〇〇
									六〇〇	六〇〇	六〇〇

(備考) 編者記、右ノ外軍艦ニ於テ五〇〇〇驅逐隊晝間ニ於チ三〇〇〇アルモ略セリ

二、減(増)點事項ヲ左ノ如ク定ム但シ減(増)シテ得點ヲ負點(百點以上)トナスコトナシ

1. 軍艦戰闘發射

イ、平均照準距離ノ大小 ロ、故障錯誤 ハ、不達魚雷 ニ、發射時ニ於ケル隊列

2.

驅逐隊戦闘發射

イ、八千米以内ノ運動時間

ロ、規定最短運動距離以内ノ運動

ハ、故障錯誤、運動不良、落伍

夜間戦闘發射

イ、規定最短運動距離以内ノ運動

ロ、故障錯誤、運動不良、落伍

艇隊夜間戦闘發射

驅逐隊夜間戦闘發射ニ準ス

潜水艇戦闘發射

イ、規定最短運動距離以内ノ運動

ロ、五千米以内ニ於ケル潜望鏡露出時間

ハ、故障、錯誤、運動不良

三、綜合成績

前諸號ニ依リ算定シタル得點數ニ對シ海軍戰技褒賞令施行規則ノ區分每ニ成績得點ヲ求ム成績得點相等シキトキハ命中魚雷數ノ規定發射數ニ對スル百分比大ナルモノヲ上位トス

〔参考〕係數算出法及減(増)點ノ要旨

一、係數算出法左ノ如シ

(イ) 軍艦驅逐隊夜間戦闘發射

別表(略)ノ要素ニ依リ發射ト同時ニ曳的艦ガ外方三點(六點)迄雙針スルモノトシ之ニ對シテ最大平均命中公算ヲ得ル如ク射法ヲ計畫シタルモノト假定シ該命中公算ノ反數ヲ以テ係數トス即チ左ノ如シ

射程標準	命中公算	係數
一〇〇〇〇	〇、七五	一、三三
八〇〇〇	〇、七八	一、二八
五〇〇〇	〇、六〇(〇、二〇)	一、六七(五、〇〇)

三〇〇〇	〇、七八(〇、三五)	一、二八(一、八六)
二、五〇〇	/ (〇、四〇)	/ (一、五〇)

(二) 駆逐隊夜間戦闘發射、艇隊、潜水艇

別表(略)ノ要素ニ依リ射法ヲ計畫シ之ニ對シテ豫期命中數(別表、略)ヲ求メ其ノ近似平均命中數ヲ以テ發射數ヲ除シタルモノヲ係數トス 但シ標的長六十米ノ場合ニハ百米ノ場合ニ比シ運動容易ナルヲ以テ標的百米ノ場合ト同一係數トシ、潜水艇、艇隊ニ於テハ射法實施ノ困難及雷速ノ小ガ命中率ニ影響スル關係ヲ加味シ係數ノ價值ヲ記載ノ通増大セリ

二、減(増)點ノ要旨

單艦戦闘發射ニアリテ係數算定ニ用ヒタル命中公算ヲ射程ニ略反比例スルモノト假定シ之ニ達落公算ヲ加味シ且増點ノ割合ヲ減點ニ比シ良好ナラシム驅逐隊晝間發射ニ在リテハ命中公算ヲ射程ニ略反比例スルモノト假定シ且運動距離ニ對スル戰術上ノ顧慮ヲ加味シテ定メタリ
夜間驅逐隊艇隊戦闘發射及潛水艇戦闘發射ニ在リテハ命中率ノ射程ノ大小ニ依リ變化スル量ト且發程ノ過近ヲ防グ爲在來ノ例ニ基キ減點率ヲ定メタリ

大正八年	各種戰技個々ノ點得ニ關スルモノハ概本前年ニ同ジ 綜合成績ハ左記ニ依ル
各隊ノ成績トス	一、戰隊ニ在リテハ前諸號ニ依リ算定シタル得點同類戰隊中最高位ノモノヲ百點トシ以下同一比例ニ換算セルモノヲ
二、水雷戰隊ニ在リテハ驅逐隊戦闘發射ノ平均得點及水雷戰隊戦闘發射ノ平均得點ノ合計最高位ノモノヲ二百點トシ以下同一比例ニ換算セルモノヲ各隊ノ成績トス	三、潛水隊ニ在リテハ晝夜間戦闘發射ノ合計得點ヲ以テ成績トス

大正九年

大体ニ於テ前年度ニ同ジキモ此種審査規程ノ最終ナルヲ以テ参考ノ爲之ガ全文ヲ掲記ス

一、命中魚雷數ノ規定發射數ニ對スル百分比ニ左記係數ヲ乘ジタルモノヲ得點トス
但シ得點百ヲ超ユルトキハ其ノ百トス又規定時間超過後發射ヲ行ヒタルトキハ該發射魚雷數ヲ命中魚雷數ヨリ減ジタルモノヲ命中魚雷數トス

係 數	隊 列		軍 艦 戦 隊		水 雷 戦 隊		潛 水 隊	
		一	一二水戦	三水戦	四	二		
一								
二								
二								
一								

二、減點事項ヲ左ノ如ク定ム但シ減點シテ負點トスルコトナシ

(イ) 軍艦編隊戦闘發射

イ、平均照準距離ガ規程最短運動距離ヨリ小ナルコト二百五十米以上毎ニ得點ノ百分ノ五ヲ減ズ、但シ單獨實施ノ艦ニ在リテハ其ノ隻數ノ比例ニ應ジ減點ス

ロ、發射實施ニ際シ已ムチ得ザル事故ニヨルニアラズシテ船體兵器等ニ著ルシキ故障ナ生ジタル場合ニハ其ノ種類及程度ニ應ジ減點ス

ハ、發射準備適良ナラザルカ又ハ發射操法ニ錯誤アリシ爲規定發射數ヲ發射シ得ザリシトキ及誤發ヲ爲シタルトキハ各不發及誤發魚雷毎ニ得點ノ百分ノ五ヲ減ズ

ニ、不達魚雷數ガ發射數ノ二十分ノ一以上ナル毎ニ得點ノ百分ノ二ヲ減ズ

ホ、發射時ニ隊形著ルシク亂レタルトキハ其ノ程度ニ應ジ減點ス

ヘ、沈没失踪魚雷數發射數ノ二十分ノ一毎ニ得點ノ百分ノ一ヲ減ズ

(ロ) 水雷戰隊戦闘發射

イ、發射隊が標的隊ニ對シ一萬米以内ノ運動時間二分以上ナル毎ニ得點ノ百分ノ二（三等驅逐艦ノ隊）ハ百分ノ一・五（ハ百分ノ一・五）ヲ減ズ

但シ視界ニヨリ適宜斟酌ス

口、運動距離ガ規定最短運動距離ヨリ小ナルコト二百五十米以上ナル毎ニ旗艦ニ在リテハ得點ノ百分ノ一ヲ驅逐隊(分離セル艦アルトキハ其ノ隻數ニ應ジ)ニ在リテハ同シク百分ノ四ヲ減ズ 但シ彼我對勢ニ依リ斟酌ス
ハ、發射準備適良ナラザルカ或ハ其ノ他ノ故障ニ依リ特ニ迂回又ハ旋回運動ヲナシタル隊アルトキハ得點ノ百分ノ五ヲ減ズ 但シ一隊中分離別動セル艦ニアリテハ其ノ隻數ノ比例ニ應ジ減點ス

ニ、不發又ハ誤發ヲ爲シタルトキハ各不發誤發魚雷ニ就キ得點ノ百分ノ五ヲ減ズ

ホ、沈没失踪魚雷數ガ發射數ノ二十分ノ一每ニ得點ノ百分ノ一ヲ減ズ

ヘ、發射實施ニ際シ己ムヲ得ザル事故ニ依ルニアラズシテ船體兵器等ニ著ルシキ故障ヲ生ジタルトキハ其ノ種類及程度ニ應ジ減點ス

(三) 水雷戦隊夜間戦闘發射

イ、驅逐隊規定最短運動距離以内ニ入りタルトキハ其ノ隊毎ニ左記ニ依リ減點ス 但シ一隊中分離セル艦アルトキハ其ノ隻數ノ比例ニ應ジ減點ス

規定最短運動距離	減 点 率
百米以上二百米以内	百分ノ五
二百米以上	百分ノ十

ロ、發射準備適良ナラザルカ又ハ其ノ他ノ故障ニ依リ特ニ迂回又ハ旋回運動ヲ取リタル隊アルトキハ得點ノ百分ノ五ヲ減ズ 但シ一隊中分離セル艦アルトキハ其ノ隻數ノ比例ニ應ジ減點ス

ハ、不發又ハ誤發魚雷アリタルトキハ該魚雷毎ニ得點ノ百分ノ五ヲ減ズ

ニ、發射隊長時間照射又ハ砲擊ヲ受ケタルトキハ其ノ程度ニ應ジ減點ス

ホ、發射實施ニ際シ己ムヲ得ザル事故ニ依ルニアラズシテ船體兵器等ニ著ルシキ故障ヲ生ジタル場合ニハ其ノ種類並ニ程度ニ應ジ減點ス

(四)

潜水隊晝間戦闘發射

- ヘ、沈没失踪魚雷數、發射魚雷數ノ二十分ノ一每ニ得點ノ百分ノ一ヲ減ズ
 イ、發射艦規定最短運動距離以内ニ入りタルトキハ左ノ如ク減點ス

規定最短運動距離以内ニ入りタルトキハ左ノ如ク減點ス	得點ヨリ減ズベキ率
百米以上	百分ノ五
二百米以上	百分ノ十
三百米以上	百分ノ二十

ロ、發射艦五千米以内ニ於ケル潛望鏡露出時間ニ依リ左ノ如ク減點ス
 但シ四十五秒以上連續・潜望鏡ヲ露出スルトキハ其ノ時間ヲ倍加シテ算定ス

潜望鏡露出時間	減點
二分以上毎十秒	五點

- ハ、發射艦發射準備適良ナラザルカ又ハ發射操法ニ錯誤アリシ爲規定發射數ヲ發射シ得ザリシトキ及誤算ヲ爲シタルトキハ各不發射及誤發魚雷每ニ得點ノ百分ノ五ヲ減ズ
 ニ、沈没失踪魚雷數發射魚雷數ノ二十分ノ一毎ニ得點ノ百分ノ一ヲ減ズ
 ホ、發射艦五千米以内ニ於ケル潜望鏡露出回數ヲ通算シ六回ニ達セル場合及爾後一回ヲ増ス毎ニ得點ノ百分ノ五ヲ減ズ

- イ、發射隊規定最短運動距離以内ニ入りタルトキハ左ノ如ク減點ス
 ハ、潛水隊夜間戦闘發射

規定最短運動距離以内ニ入りシ距離	得點ヨリ減すべき率
百米以上	百分ノ五
二百米以上	百分ノ十
三百米以上	百分ノ二十

口、發射艦發射準備適良ナラザルカ又ハ發射操法ニ錯誤アリシトキ及誤發ヲ爲シタルトキハ各不發射及誤發魚雷毎ニ得點ノ百分ノ五ヲ減ズ
ハ、沈没失踪魚雷數發射魚雷數ノ二十分ノ一每ニ得點ノ百分ノ一ヲ減ズ

三、綜合成績

- (一) 戰隊ニ在リテハ前諸號ニ依リ算定シタル得點同類戰隊中最高位ノモノヲ百點トシ以下同一比例ニ換算セルモノヲ各隊ノ成績トス
- (二) 水雷戰隊ニ在リテハ晝間及夜間戰闘發射成績ノ合計最高位ノモノヲ二百點トシ以下同一比例ニ換算セルモノヲ各隊ノ成績トス
- (三) 潛水隊ニ在リテハ晝間戰闘發射成績ノ二倍ト夜間戰闘發射成績ノ合計最高位ノモノヲ二百點トシ以下同一比例ニ換算セルモノヲ各隊ノ成績トス

備考

大正十年以後ハ戰技成績ヲ審議決定スルコトナク代フルニ所屬長官ノ訓示講評ヲ以テセリ